



よ坊さんだより

▼12▲

親知らずが存在すること
によりトラブルが生じる場
合があります。その位置に

より歯ブラシが届きにく
く、清掃不良によって引き

起こされる歯肉の炎症、ま
た、親知らずとその前の歯
の間のむし歯や、親知らず
に原因する骨の炎症などが
しばしば見られます。親知

患部の消毒、歯肉を切るこ
とによって対処できること
もありますが、根本治療と
しては、やはり抜歯になり
ます。抜歯に際しては入院
して治療することもありま
す。その抜歯も親知らずの
存在位置、形態、骨の硬さ、
の開く量が大きい方のほう
が少ない方よりも基本的に
は早く抜けることが多いで
す。また、抜歯後にも、唇
や舌にしびれ・まひなどの
後遺症が出ることもありま
す。

根本治療は抜歯

口の開く量などによって抜
歯に要する時間、抜歯後の
患者さんのダメージに違い
が出てきます。

たとえば、親知らずの根
っこが4本あるよりも一本
のほうが早く、また、お口

科医師会のイメージキャラ
クターです。

親知らずについて〜後編

親知らずの状態によって
抜歯の必要性の程度、抜歯
後の症状が異なるので、か
かりつけ歯科医院にてチェ
ックを受けられることをお
勧めいたします。

(京都府歯科医師会広報室
員 森厚行)

※「よ坊さん」は日本歯
科医師会のイメージキャラ
クターです。